



FORRESTER®

2022年4月

# IBM WebSphere Hybrid Editionの Total Economic Impact™

IBM WebSphere Hybrid Editionが可能にする  
コスト削減およびビジネス上の利益

「当社にとってエバーグリーンであること、つまり、システムを常に最新状態に保つことは容易ではありません。その複雑さを一部でも取り除ければ有利になるはず  
です。そうした理由から、WebSphere Hybrid  
Editionの導入が役立っています」

— 銀行業のプロダクトマネージャー

[IBM WebSphere Hybrid Edition](#)は、組織のアプリケーションのモダナイゼーションプロセスをサポートする複数のIBMソリューションをすべて1つのライセンス下にまとめたものです。WebSphere Libertyは、Java Enterprise Edition (Java EE)、Jakarta EE、MicroProfileサーバーのランタイムソリューションで、クラウドアプリケーションとマイクロサービスのホスティングに適したオーバーヘッドの低いJavaランタイム環境を提供します。WebSphere Libertyは、柔軟に構成でき、すぐに使用を開始できるほか、メモリーの使用を抑えながら簡単に拡張できるよう開発されています。

デベロッパーはよく使われるツールやLiberty機能にアクセスすることで生産性を高めることができます。先進的な管理者コンソールによりLiberty環境の管理がしやすくなっています。Open Libertyはデベロッパーにオープンソースの柔軟性とコミュニティを提供します。WebSphere Hybrid Editionには、IBM Cloud Transformation AdvisorやIBM Mono2Microなどといった追加機能が含まれており、組織のワークロードのクラウド化への最適かつ効率的な移行を実現します。

## 主な指標



投資利益率  
(ROI)

**195%**



利益の現在価値 (PV)

**710万ドル**



正味現在価値 (NPV)

**469万ドル**



回収期間

**8か月**

# 調査手法

## 意思決定者のインタビュー調査

IBM WebSphere Hybrid Editionを使用する組織の意思決定者4人にインタビューをし、そのコスト、利益、リスクに関するデータを収集しました。

## モデル組織

インタビュー回答者の所属組織の特性に基づき、モデル組織を作成しました。

## 財務モデルフレームワーク

TEI手法を用いて調査結果から導かれる典型的な財務モデルを作成し、インタビュー回答者が提示した課題と懸念に基づき財務モデルをリスク調整しました。

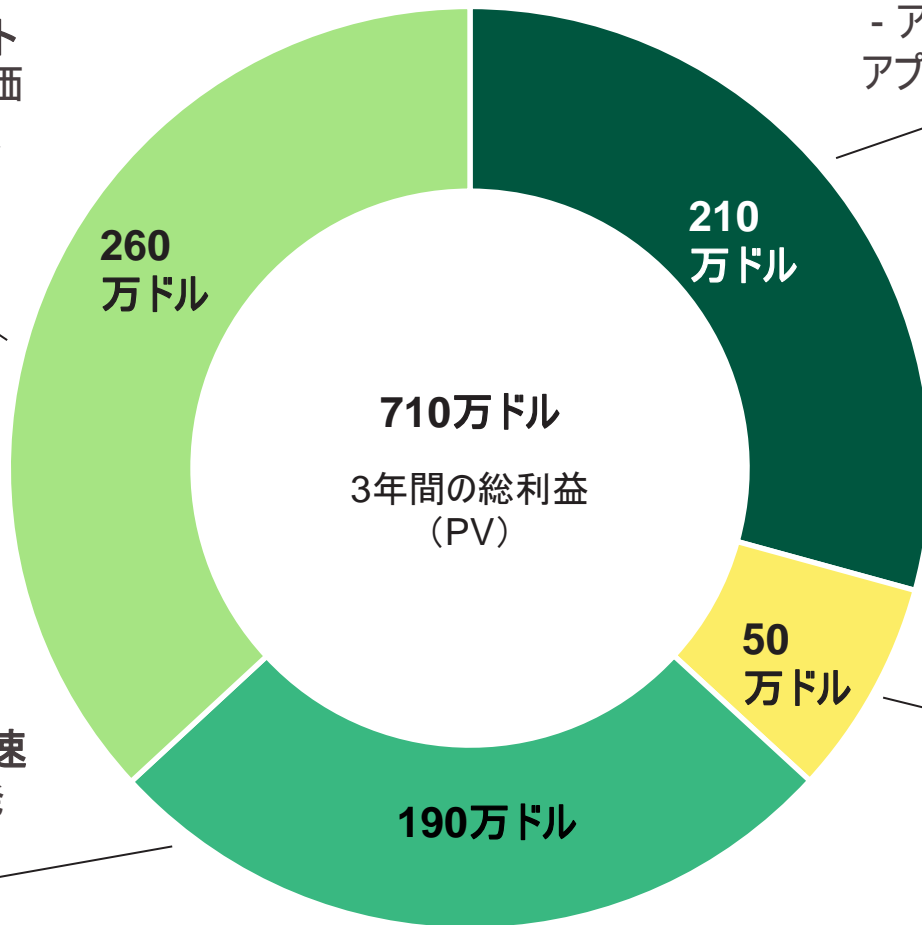
# Forresterは4人の意志決定者にインタビュー調査を実施しました

インタビュー回答者の役職名	業種および地域	収益
製品マネージャー	英国の銀行	200億ドル超
AVPとビジネストランスフォーメーションアーキテクト	中東の銀行	15億ドル超
ミドルウェアチームのシステムアドミニストレーター	米国の小売業者	1500億ドル超
システムアナリスト	米国のヘルスケア企業	6億5000万ドル超

# IBMは、モデル組織に3年間で**710万ドル**の定量的利益を還元しました

インフラストラクチャのコスト  
節減 - 密度の低下と低価格  
ハードウェアの使用によるもの

開発者の生産性向上  
- アプリケーションの移行と  
アプリケーション開発ワーク  
- ストリームによるもの

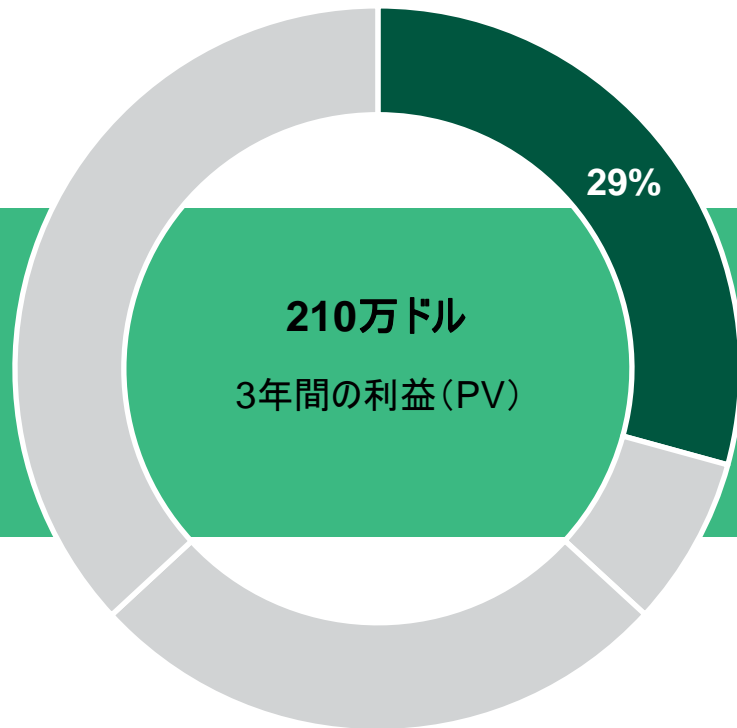


収益(総利益)の加速  
- アプリケーション開発  
に必要な時間の短縮によるもの

管理者の生産性向上  
- ウェブアプリケーション  
サーバーインスタンスの  
プロビジョニング、パッチ、  
モニタリングなど開発者  
サポートタスクの削減によるもの

## IBM WebSphere Hybrid Editionはデベロッパーの生産性を高めます

デベロッパーは、アプリケーション移行とアプリケーション開発ワークストリームの両方から利益を得て、より多くを達成しながら開発サイクルをプロジェクトごとに数か月までも短縮できます。各インタビュー回答者は、ビジネス上の要求事項を解決しながらデベロッパーの生産性をできる限り高めることが最優先事項だったと述べています。また、アプリケーション移行とアプリケーション開発ワークストリームの両方におけるデベロッパーの生産性の向上がWebSphere Hybrid Edition導入の最も大きなメリットだとも述べています。



「WebSphere Libertyで素早く立ち上げて、簡単に環境を更新できるところが優れています。生産性が目に見えて向上しました」

AVPとビジネストランスフォーメーション  
アーキテクト

「Collective Controllerの動的ルーティングとルーティングルール機能により、カナリアリリースとブルーグリーンのデプロイメントモデルを使用してKubernetes機能をシミュレートできます。新しいアプリケーションをそのままトラフィックにフィードすることが可能です。チームがテストをしたい場合は、ライブトラフィックを送り込む必要がありません。テスト・パースペクティブからリクエストを送信し、使用可能であることを確認できます。これらは、当社のアプリケーションエスレートにとって非常にありがたい機能です」

— 銀行業のプロダクトマネージャー

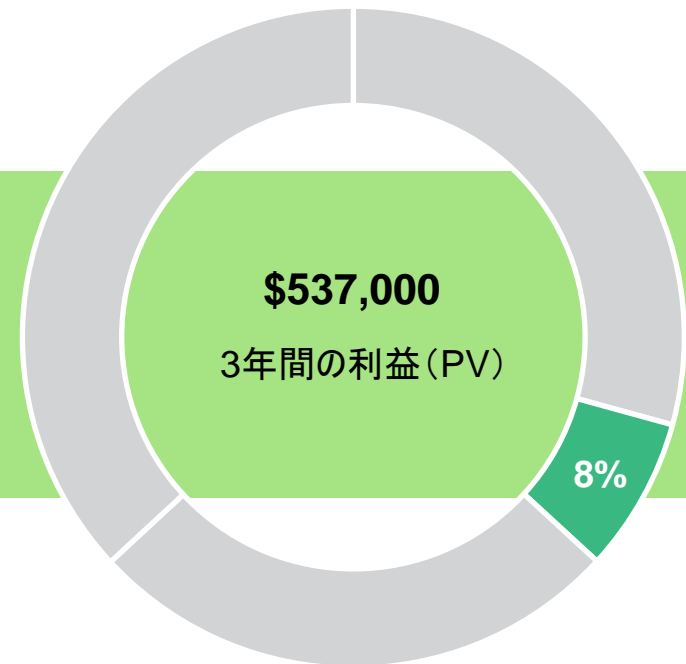


## IBM WebSphere Hybrid Editionは、アプリケーションエースト間の複雑さを軽減し、設定要件を低減させることでIT管理者の生産性を高めます

IT管理者は、ウェブアプリケーションサーバーインスタンスのプロビジョニング、パッチ、モニタリングなどでデベロッパーをサポートするタスクにかかっていた時間を短縮できました。あるインタビュー回答者は、WebSphere Hybrid Editionの導入により組織のIT管理者の作業時間が半分近く(55%以下)に短縮されたと述べています。

「デベロッパーが自分で更新を行うため、初期導入後はこちらが関与する必要がありません。すべてのXMLをサービスの背後でテンプレート化したため、どこでも同じ形式になりました。唯一の違いは、アプリケーションごとに異なるアプリケーションXMLを供給する必要がある点です。この操作に管理者は関与しません。ソリューションを構築して導入すれば、あとは任せるだけです」

— 小売業者のシステム管理者

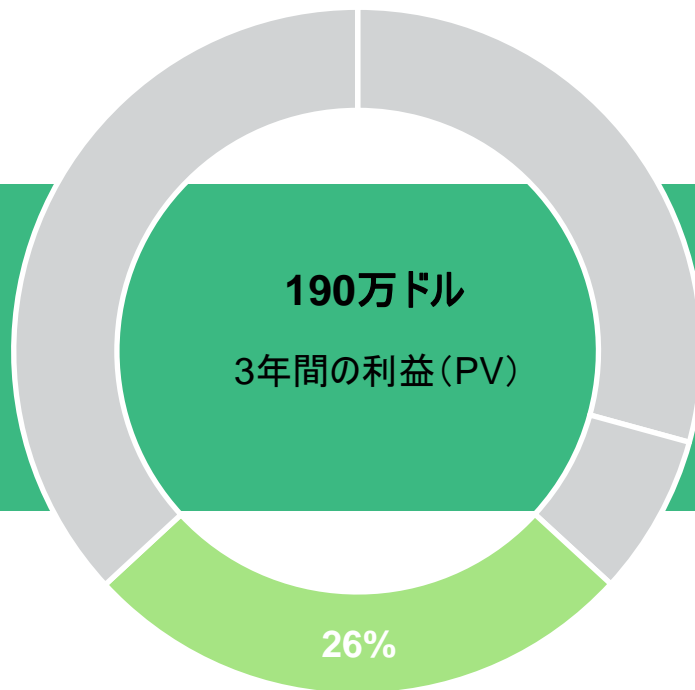


「当社のIT管理者は、少ない人数でも対応できるようになりました。デベロッパーの効率が非常に向上したため、サポートする人員の確保を心配する必要がありません。WebSphereのおかげで社内の効率が上がり、知識が増えました」

— 小売業者のシステム管理者

## IBMの迅速なカスタマーフェーシングアプリケーション開発が、収益の増大につながります

デベロッパーとIT管理者両方の生産性の向上により、ビジネスクリティカルアプリケーション、アップデート、マイクロサービス、機能の開発サイクルが短縮されます。主要サービスの迅速な提供により、継続的な収益増大を期待できます。銀行業のインタビュー回答者の1人は、WebSphere LibertyとOpen Libertyによりリビジョンサイクルが最大70%も短縮されたと見ており、これによりデベロッパーの生産性が高まると同時に主要アプリケーション、マイクロサービス、機能の市場投入時間が短縮したと述べています。

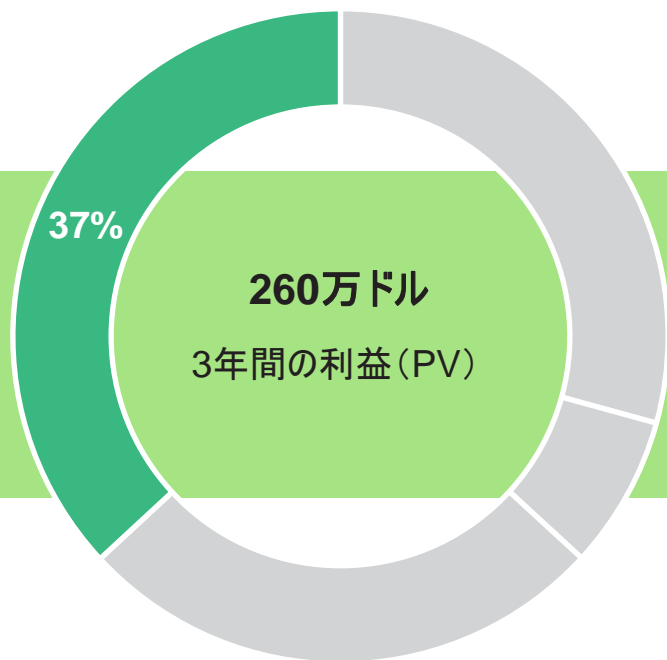


「サポートがあることは大きなメリットです。重大なインシデントの発生時にこうしたサポートがあるのは銀行にとって極めて重要です。サービスの提供が速くなるほど、どんなに小さな遅れでもその影響は大きくなっていきます。WebSphere Hybrid Editionは、ビジネスコミットメントの実現を支援してくれます」

— 銀行業のプロダクトマネージャー

## IBM WebSphere Hybrid Editionは顕著なインフラストラクチャのコスト節減を実現します

WebSphere Hybrid EditionとWebSphere Libertyは、インフラストラクチャの使用率を改善することで、データセンター、インフラストラクチャ購入、電力、空調、その他のコストを節減します。従来のアプリケーションサーバー環境に比べ、WebSphere Libertyはスループットが高く、メモリー使用量が少なく、ワークロードの実行に必要なリソースが少なくてすみます。Mono2Microでアプリケーションをマイクロサービスとしてリファクタリングすることで、さらなるインフラストラクチャコストの節減が可能となります（デベロッパーの生産性の向上に加えて）。コンテナへの移行によってもさらなる節減が可能です。



「必要に応じて、同一ホスト上でも、あるいは複数ホストにでも拡張できます。スケールアップやスケールダウンが可能です」

— 小売業システム管理者

# 非定量的メリット

IBMは、顧客にとって定量化できない付加的な利益も可能にしました

IBMはセキュリティ体制を改善する。インタビュー回答者は、WebSphere Libertyにより組織のセキュリティがより柔軟になり、これによりセキュリティ体制が改善されたと言っています。もう一つのセキュリティ上のメリットとして、クリティカルなアプリケーション、アップデート、共通脆弱性評価システム（CVSS）対象のセキュリティコンプライアンスが挙げられます。



IBMはエンドユーザーの生産性を向上する。この分析では定量化されていませんが、エンドユーザーはWebSphere LibertyとOpen Libertyへの移行による反復アプリケーションパフォーマンスとアップタイムの改善といったメリットを享受します。



IBMはデベロッパーが取り組む業務の質を向上する。デベロッパーは本来の仕事に集中し、柔軟なアプリケーション、マイクロサービス、機能を開発して最も適したランタイム環境にデプロイできるようになります。Open Libertyはまた、デベロッパーのサポートコミュニティも提供します。



「WebSphereを導入したところ、スタッフ不足、スタッフのスキル、アプリケーションや変更の本番稼働への時間的なプレッシャー、関連の問題が緩和されました」

— 銀行業のAVPとビジネストランスフォーメーションアーキテクト

アプリケーション移行とアプリケーション開発ワークストリーム両方におけるデベロッパーの生産性が50%向上



インタビュー回答者からは、密度が40%改善したことにより、インフラストラクチャのコスト(電源、空調、保守関連)を削減できたとの報告



IBM WebSphereは管理者の生産性を40%向上



「個人的には、WebSphere Hybrid Editionによって当銀行のクラウド対応が実現できたと見えています」

— 銀行業のプロダクトマネージャー



## 付録A: Total Economic Impact (TEI、総経済効果)

Total Economic Impact (TEI)は、Forrester Researchが開発した手法であり、企業の技術関連の意思決定プロセスを強化し、ベンダーが製品やサービスの価値をクライアントに提案するための支援を行います。TEI 手法を使用することで、企業は上級管理職やその他のビジネス上の主要利害関係者に IT イニシアティブの具体的な価値を説明し、実現に向けて根拠を示すことができます。

### Total Economic Impactの手法



**利益**とは、製品がビジネスにもたらす価値を意味します。TEI手法では、利益の測定とコストの測定に同じ比重を置き、技術が組織全体に与える影響を徹底的に評価することが可能になります。

**コスト**では、製品の価値、つまり利益を提供するために必要なすべての経費が考慮されます。TEI でのコスト区分には、ソリューションに関連して継続的に発生するコストに対する既存環境上の増分コストが含まれます。

**柔軟性**とは、すでに行われた初期投資の上に構築される、将来の追加投資で取得できる戦略的価値のことです。その利益を享受できる能力があるとは、見積もり可能なPV（現在価値）があることを意味します。

**リスク**とは、利益とコストの見積もりの不確かさを測定したもので、1) 見積もりが初期の予想に見合う可能性と、2) 時間の経過と共に見積もりが追跡される可能性が考慮されます。TEI ではリスク因子は「三角分布」に基づいています。

初期投資の欄には、「時間0」、すなわち1年目の始まりに発生するコストが記載されます。これらのコストには割引率は適用されません。その他すべてのキャッシュフローには、年度末の割引率が適用されます。現在価値(PV)は、それぞれの総コストおよび利益の見積もりに対して計算されます。サマリーテーブルの正味現在価値(NPV)は、当初投資と各年の割引後のキャッシュフローの合計になります。総利益、総コスト、キャッシュフローの各表の合計金額および現在価値については、四捨五入のため合計値が合わないことがあります。



### 投資利益率(ROI)

パーセンテージで表したプロジェクトの期待利益。ROIは、純利益(粗利益からコストを引いた値)をコストで割ることによって求められます。



### 現在価値(PV)

特定の利率(割引率)を使用した場合の(割引後の)コストおよび利益見積もりの現在価値。コストおよび利益の現在価値(PV)は、キャッシュフローの総正味現在価値(NPV)に適用されます。



### 正味現在価値(NPV)

特定の利率(割引率)を使用した場合の(割引後の)将来の正味キャッシュフローの現在価値。プロジェクトの正味現在価値(NPV)の値が正であれば、他のプロジェクトのNPV がそれより高くない限り、通常は投資すべきであると考えられます。



### 割引率

金銭の時間的価値を考慮するために、キャッシュフロー分析で使用される利率。通常、企業は8%~16%の割引率を使用します。



### 回収期間

投資の損益分岐点です。純利益(利益からコストを引いた値)が初期投資額またはコストと等しくなる時点を指します。

# 詳細を読む

調査結果「IBM WebSphere Hybrid EditionのTotal Economic Impact」  
PDF版をダウンロード

今すぐ読む

IBMへのお問い合わせ

FORRESTER  
をフォロー

